

## [参考事項]

成果情報名：小中学生に農業を職業選択の一つに意識付けさせる方策

研究機関名 農業試験場企画経営室経営チーム

担当者 工藤三之・飯塚悠莉子・他2名

## [要約]

小中学生に将来の職業選択の一つとして農業を意識付けさせるには、実際の作業体験や最新技術の紹介により、若さやかっこよさ、スマート農機による自動化・軽労化をアピールするなど、質とスタイルの面からイメージアップにつながる取り組みが必要である。

## [キーワード]

キャリア教育・職業選択・小中学生・農業のイメージアップ

## [普及対象範囲]

県内全域

## [ねらい]

キャリア教育や作業体験等とおし、小中学生に農業が将来の職業選択の一つとして意識付けするための方策を検討する。

## [成果の内容及び特徴]

- 1 小学校における農業に関する授業は、プランター等での野菜や花の栽培や、借地等での手植え、手刈り作業が多く、農家を訪問しての作業や実際の機械作業はほとんど行われていない（図1）。中学校における職業選択に関する授業でも、農業は他産業に比べ少ない実施状況である（図2）。
- 2 小学生は、農業に対し「使命感」や「将来性」は概ね肯定的なイメージを持っているが、「スタイル」や「質」で肯定的なイメージを持つ人は少ない（図3）。
- 3 他産業では、関係機関と連携し小中学生を対象とした作業体験を実施している。先端技術の紹介や安全性に配慮した乗車体験など、親も含め楽しみながら体験できる内容となっている（表1）。
- 4 以上のことから、小中学生に農業を将来の職業選択の一つとして意識付けさせるには、実際の作業体験や最新技術の紹介により、若さやかっこよさ、スマート農機による自動化・軽労化をアピールするなど、農業のイメージアップにつながる取り組みが必要である。

## [成果の活用上の留意点]

- 1 小中学校における授業の内容（図1、図2）は、令和4年度に県内の小中学校（含む義務教育学校）へのアンケート調査（配布288、回収248、回収率86.1%）の結果である。
- 2 農業に対するイメージ（図3）は、令和5年度に県内2校の小学5年生175人に対しアンケート調査した結果である。
- 3 建設業の取り組み（表1）は、令和5年度に県内2地域で実施した内容をヒアリング調査により要約したものである。

[具体的なデータ等]

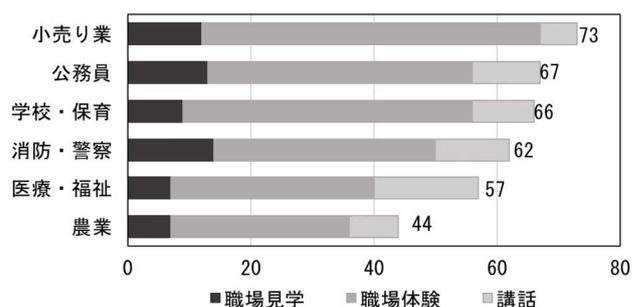
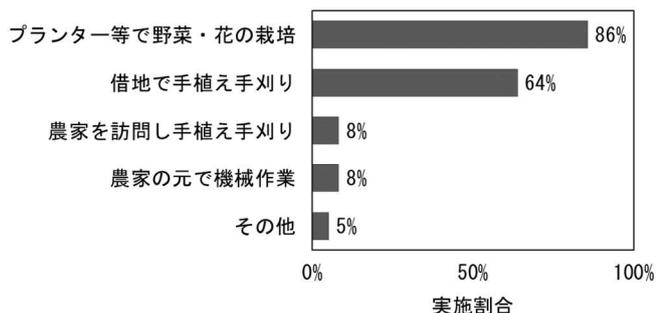


図1 小学校における農業に関連した授業や活動の実施内容（複数回答）

図2 中学校における職業選択に関する取り組みの実施業種（複数回答）

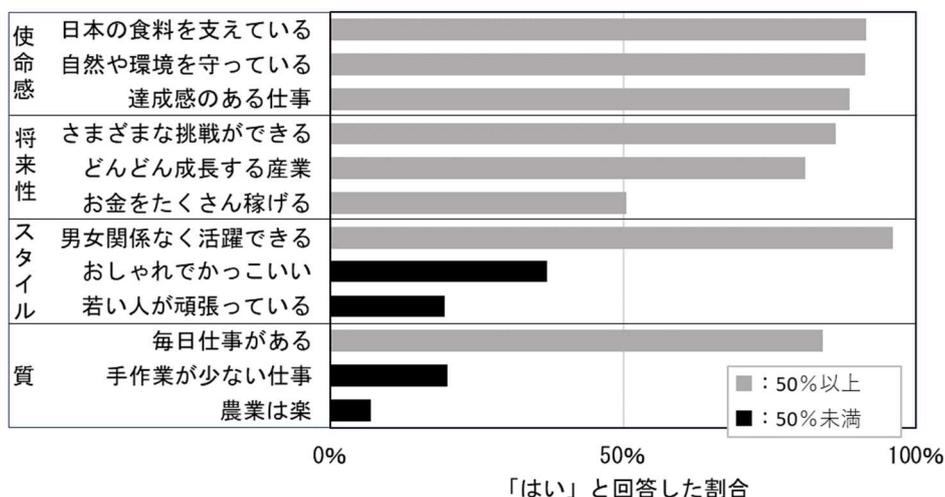


図3 農業に対するイメージ（小学5年生）

表1 建設業が小中学生を対象とした作業体験の実施内容

	事例1	事例2
体験内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手練りコンクリート打設</li> <li>・ミニバックホウの操作体験、測量体験</li> <li>・女性エンジニアとのフリートーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測量体験、重機搭乗体験</li> <li>・ドローンによるモニタリング、写真撮影</li> </ul>
対象	小中学生※保護者も参加可能（参加募集）	小学生（対象の学校は協議により決定）
主催	建設業協会、地域振興局	建設業協会、地域振興局
取り組みの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門用語はなるべく使わない</li> <li>・ICTなど新しい技術を紹介する</li> <li>・機械の操作体験は、事前に危険性を打ち合わせしたり、エンジンを停止して行う等、事故防止につとめる</li> <li>・親に対するイメージアップも進めていく</li> </ul>	

[その他]

研究課題名：新規就農者の現状と課題及び中等教育以前のキャリア教育実態の把握

研究期間：令和4年度～令和6年度

予算区分：県単

掲載誌等：なし